

梶原学園少年消防クラブ 高知県梶原町

少年消防クラブ交流会を終えて

(西日本地区 IN 徳島) 平成25年8月7日～9日

この写真は、
今年の夏に行われた
消防団の演習の場で
軽可搬ポンプ操法を
披露した時の写真です。



平成25年度 少年消防クラブ軽可搬ポンプ操法披露

『徳島大会に出場して』 六年・氏原 弘人

ぼくたち梶原少年消防クラブは、八月に徳島で開かれた大会に出場しました。
まず始めに、梶原学園と赤岡町の少年消防クラブと一緒にホースでボーリングのピンを倒したり、消火器を使って火のまに当てたり、ホースに筒先を結合して走る競技をしました。チームが一つとなり、一人ひとりのまかされた競技を一生懸命頑張りました。練習の成果が出てよかったです。



学校での練習では、はじめは上手にできなくて悔しい思いもしましたが、練習を頑張ってきたことで、本番で自分たちの積上げてきたことが出せたので“やってよかった”と思いました。次は、東京で開かれる消防団120年・自治体制度65周年記念大会に向けて、これまでよりもさらにいいチームになるように練習をもっと頑張りたいと思います。
その成果を皆にも見てもらいたいです。



KOUCHI

●梶原学園少年消防クラブは、学園の生徒全員が少年消防クラブ員として登録されていますが、その中から3年生3人、4年生2人、6年生2人の7名の代表者が軽可搬ポンプ操法等の訓練を行っています。今回は代表者7名の中から、6年生2名、4年生1名の計3名が交流会に参加しました。



『徳島大会に参加して』 六年・西村 友宏

ぼくたち梶原少年消防クラブは、徳島で開催された大会に出場しました。

会場には少年消防クラブに入っている人たちが大勢集まり、これまでの練習の成果を出し合いました。

会場に着いたとき、ぼくは心の中で“よし！がんばるぞ”と思いました。競技では全員が普段通りのきびきびした動きでホースを転がしてピンを倒したり、全力で走りぬいたりしました。

競技終了後、貴重な体験をしました。それは、煙が溜まっている部屋に入り、火事の疑似体験をしたことです。ぼくは、煙は上に上がっていく性質があることや、煙の中では態勢を低くしなければならない事が大切だと分かりました。

自分の身が危険な時でも消火活動をしている消防士さんは凄いと思いました。

これからも、今回学んだことを活かして練習に取り組み、次の東京大会で全力で頑張りたいと思いました。



『徳島大会に参加して』 四年・川上 麻衣



私は、梶原少年消防クラブで女子一人ですが、男の子と一緒に頑張っています。

徳島大会に参加して、私たちと同じ活動をしているたくさんのクラブ員さんがいるんだなと思いました。

ホテルでは全員がホールに集合して夕食をしました。少し恥ずかしかったです。

二日目の大会では、一番員としてホースを伸ばしてボーリングピンを倒す競技でしたが、練習の時にはうまく伸ばせたのに、本番ではボーリングピンを倒すことが出来ず悔しかったです。

でも、赤岡小学校のクラブ員の人たちと一緒に競技に参加できて楽しかったです。



消防学校の横にある防災センターを見学して、地震の体験とか煙の体験ができて、本当の火事や地震が起きたら怖いと感じました。その後は「阿波十郎兵衛屋敷」で人形浄瑠璃を観て、人形が本当の人のように見えて“動かしている人は凄いな”と思いました。

三日目は、消防団の人たちの台風のとくに経験した話と、阿波踊りを体験しました。大雨が降ると家が流されたり、行方不明の人が出たり消防団の人たちは皆を守るために頑張っていることが分かりました。

阿波踊りは凄く楽しくて、手と足を動かすのは難しかったです。またこのような大会があれば参加してみたいです。